

新規事業採択時評価結果（平成27年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全課  
担当課長名：池田 豊人

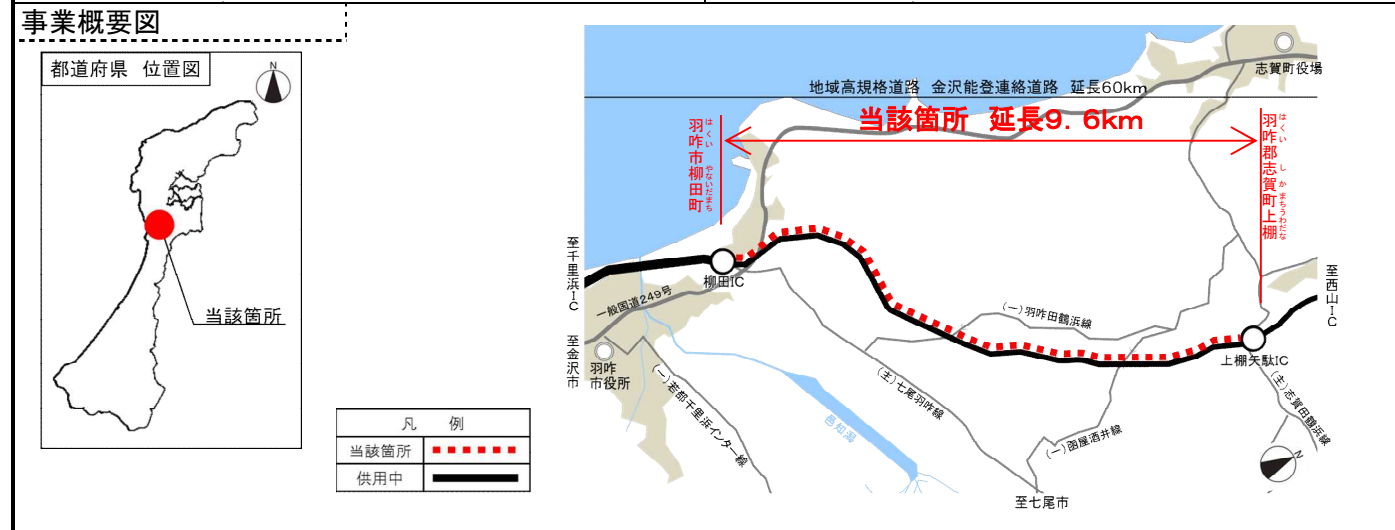
事業の概要

事業名	地域高規格道路 金沢能登連絡道路 主要地方道 金沢田鶴浜線 (柳田IC～上棚矢駄IC)	事業区分	地方道	事業主体	石川県
起終点	自：石川県羽咋市柳田町 至：石川県羽咋郡志賀町上棚	延長	9.6 km		

**事業概要**  
金沢能登連絡道路は、金沢市と羽咋郡志賀町を連絡する総延長約60kmの地域高規格道路。主要地方道金沢田鶴浜線（柳田IC～上棚矢駄IC）は、金沢能登連絡道路の一部を構成する区間であり、現道区間の交通混雑の緩和や広域交流の促進、災害時の代替路として期待されている道路。

**事業の目的、必要性**  
主要地方道金沢田鶴浜線（柳田IC～上棚矢駄IC）は、羽咋市と羽咋郡志賀町を連絡し、広域ネットワークを形成するとともに、平成25年の通行料無料化以降生じている交通渋滞の緩和や、死亡事故につながる正面衝突事故等の減少による安全性の向上、広域交流の促進に資する道路である。

全体事業費	150億円	計画交通量	16,600台/日
-------	-------	-------	-----------



**関係する地方公共団体等の意見**  
沿線自治体で構成される「のと里山海道整備促進期成同盟会」（七尾市、羽咋市、輪島市、珠洲市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町）等から早期整備を要望されている。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
—

**事業採択の前提条件**  
費用対便益：便益が費用を上回っている。  
手続きの完了：拡幅に要する用地の約96%が取得済みであり、地元同意が得られている。  
地元自治体や地元団体から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.6	総費用 124億円 事業費：115億円 維持管理費：9.0億円	総便益 193億円 走行時間短縮便益：173億円 走行経費減少便益：10億円 交通事故減少便益：10億円	基準年 平成26年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.5 (交通量 -10%)	B/C=1.7 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.4 (事業費 +10%)	B/C=1.7 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=1.4 (事業期間 +20%)	B/C=1.6 (事業期間 -20%)		

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎
事故対策		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央分離帯での車線分離により正面衝突事故をはじめとする交通事故が減少</li> </ul> <b>【交通事故の状況】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>正面衝突事故発生割合(H21～H25)：50% → 0%</li> <li>正面衝突による死亡事故割合(H7～H25)：63% → 0%</li> </ul>
歩行空間		—	・注目すべき影響は無い
社会全体への影響	住民生活	○	・三次救急医療施設「金沢医科大学病院」へのアクセス向上
	地域経済	○	・重要港湾金沢港へのアクセス向上
	災害	○	・志賀原子力発電所有事の際には迅速かつ円滑に避難できるなど、第一次緊急輸送道路の機能強化が図られる
	環境	—	・注目すべき影響は無い
	地域社会	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>県都金沢と能登半島の時間距離が短縮されることにより、金沢への通勤圏の拡大による定住人口の増加や連携強化が図られる</li> <li>能越自動車道と一体となって広域交流の促進が図られる</li> <li>無料化以降続いている企業進出の促進</li> </ul>
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の「ダブルラダー結いの道」整備構想に位置付けられている</li> <li>沿線自治体で構成されるのと里山海道整備促進期成同盟会等から強い要望を受けている</li> </ul>	

採択の理由

事業主体である石川県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.6と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、交通渋滞の緩和、交通事故の減少、県都金沢と能登地域との連携強化、緊急輸送道路の機能強化が図られるなど、当該事業の整備の必要性、効果は高いものと判断される。  
以上より、本事業を平成27年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。